物産雑説

鑛物類 附 堀出古器物類

二十九

(乙五三七)

鑛物 甲三 附 埋木 并 堀出古器

A 00
5764

東京大学総合図書館

廿九

No.30

三ノ十九ノ丁 三有図説ニ出

礦物學即金石學

礦物ハ我等ノ生活スル地球ノ外殻ヲ形成スル物質ヲ云フ

礦物ハ無機体ニシテ或ハ固形ヲナシ或ハ流体ヲナシテ流動セリ皆化学上ノ一物即元素ヨリ成リ又ハ各種ノ性質ナル種々單純ナル物質ノ混合ニ成ル

單純ナル礦物トハ顕微鏡ヲ用ヒ又ハ器械上ノ分離術ヲ用ヒテ分ツベカラザルノ性分ヲ称スルナリ譬ハ鉄銀金硫黄等ノ如シ

集成セル礦物トハ各種ノ單純ナル礦物ノ結合ニ

博物局

A00
5764

東京大學圖書

B 45224

男爵田中芳男氏寄贈
先代田中芳男関係図書
昭和七年

東京大学総合図書館

因テ成ルモノニシテ化学術ヲ以テ其成ル所ノ元素ヲ分離シ得ベシ譬ハ硫化鉄ハ鉄ト硫黄ニ成リ銀硃ハ水銀ト硫黄ニ成ルガ如シ

混合セル礦物トハ各種ノ礦物二個以上互ニ混合スルモノナリ譬ハ花剛石ハ石英、長石、雲母ニ成リ黒花剛石ハ長石ト角樏閃石トニ成ルガ如シ

諸礦物ノ部ヲ總称シテ礦物界ト云フ

礦物ヲ吟味スルコヲ礦物学ト云フ是ヲ二小部ニ分ツ

（一）ヲ礦物分科学ト云フ単純又聚成セル無機体ヲ吟味シ必ス之ヲ区別スル学ナリ（二）ヲ地殻形成学トニフ無機体ノ互ニ集リ地殻ヲ形成シタル集合ヲ吟味スル如キ一般ノコヲ掌ル学ナリ

礦物ノ性質ハ其形状ニヨリ集成ニヨリ順序ニヨリ発明ノ地ニヨリテ或ハ数学或ハ化学或ハ理学或ハ地学或ハ地殻学等ニ関係セリ

礦屬ヲ決定シ区別シテ各用ユルコ等ノ性質ヲ総テ集採スヘキコヲ徴候ト名ク

礦物ノ形状即理学及化学上ノ性質

外面ノ形ヲ以テ礦属ヲ正則ト否則トニ分ツ

正則ナルモノハ一定ノ数ヲ以テ一定ノ角ノ向ニ互ニ着キタル

一平面ヲ以テ堺ヲナスモノ之ヲ結晶体ト云フ
不正則ナルモノ一定ノ形ヲナスヿナキモノニシテ之ヲ無形体ト云フ」
結晶セル礦物トハ正則ナル形ヲ成スヘキ様ヲ顕スモノナリ
備ヘ外面ニハ原来ノ結晶ヲ成サヾルヿアリ
各結晶ニ就テ面(ツラ)、邊(スミ)、稜(カド)、ヲ分ツ」面トハ結晶ヲ
境スルモノ」邊トハ二個ノ接近シテ互ニ組合スル面ヲ
截切ル処即結合ノ筋ナリ」稜トハ三個以上ノ互ニ
着スル面ノ截切ル所即結合ノ筋ナリ」稜ト邊トハ稜
ノ大サニ従ヒ正稜、鈍稜、鋭稜ヲ形成シ又邊ト面トノ
数ニ従ヒ三、四、六、八、十二ノ辺、面等ト名ク」結晶ノ

原形ハ軸ニ因テ之ヲ定ム」軸トハ其中心ヲ直線ナルト
想像シテ定ルモノニシテ即心軸并ニ副軸ナリ其軸ノ端
末ヲ極ト名ク
当今世ニ知ル所ノ結晶形ハ凡七百種アリト雖モ皆
根形(モトカタ)ニ帰スルモノナリ其根形ヲナス所ノ結晶形ヲ名ケ
テ結晶[redacted]体トヱフ今之ヲ六綱ニ分ツ
A 三心軸アルモノニシテ互ニ正稜(直角)ヲ截切ルモノナリ
△ 第一綱 整軸、整節即正整法ニシテ之ヲ四稜法
ト名ク(皆三軸)一様ノ長サアリ
○ 元形(モトカタ)ノ数ハ次ノ如シ

1 正方柱形 即骰子形 六個ノ正整ナル四辺ノ平面、八個ノ正整ナル
稜、十二個ノ正整ナル辺、長軸ハ皆平面ノ中心ニ終ル。
鉛鑛、 五色石英、石塩

2 正三角八面形 即八面形 八ツノ等辺ノ三稜形ト六ツノ稜、十二ノ
辺アリ 長軸ハ相対スル稜ニ向ヒテ立ツ
金剛石、明礬、磁鉄、

9 斜方十二面形 即斜方ナル十二面 十二ノ等シキ斜方之平面、廿
四ノ等シキ邊、稜ハ三面ノ者八ツ四面ノ者六ツアリ、軸ハ
相互ニ向ヒ合ヘル四辺ノ稜ニ付ク
金剛石、石榴珠、亜鉛鑛

8 四面形 四個ノ等キ邊ノ三稜、六ツノ等シテ辺、四ツノ
等シキ稜、軸ハ相互ニ向ヒ合ヘル稜ノ中心ニ付ク
ヘルヂサン ハーレルス 蓬酸苦土

12 不齊辺五角十二面形 十二個ノ面ハ等シクシテ五稜ヲナシ、六ツノ
正整ナル辺ト廿四ノ不正ナル副辺アリ 軸ハ六個ノ長キ辺ノ
中心ニ集ル
硫化鉄

△第二綱 正方底直柱形 正方底八面形
（柱形ハ夫ノ）二軸ノ長サ等シク 第三ノ経ハ或ハ長シ
~~中方底直柱形~~

正方底八面形 四角ニメ八面、両四面ノ尖塔形 八ノ等脚三角ノ平面
其中央ノ周辺ノ内ニ一ノ平面ヲナシテ四角
ノモノヲ形成ス、八ノ頂辺ト四ノ周辺トアリ 二ノ頂稜ト四ノ
周稜トアリ、心軸ハ頂稜ノ間 副軸ハ周稜ノ間ニアリテ
（一ハ尖リ一ハ鈍シ）
ジルコン 錫鑛、
正方底直柱 即四角柱、二ノ等シキ四角ノ端面ト四ノ正角
ナル側面、八ノ等キ周稜ト、四ノ側辺及八ノ周辺アリ
ブエジブ山石 ジルコン

△第三綱
斜方底八面形 長方底直柱 斜方底直柱

三軸ノ長サ皆同シカラズ
○、根形ハ左ノ如シ
斜方底八面形（ヒシナリ）、即斜方尖塔形 八ツノ不齊辺ノ三角面、二ノ
頂稜ト四ノ周稜トアリ（二ハ鈍ク二ハ鋭シ） 四ノ周辺ト八ノ
頂辺アリ（四ハ鋭四ハ鈍） 三ノ不齊ナル軸ハ相互ニ直交ス
稜ニ対メ集リ着ク
長方底直柱 即長角ノ柱 正角ニメ二ノ端面ト四ノ側面ト
ナスモ（其四ハ長ク其四ハ短シ）八ノ共ニ齊シキ稜アリ 四ノ側
辺ト八ノ周辺トアリ 軸ハ相対 平面ノ中心ニ集ル
無水石膏 緑色火山石

東京大学総合図書館

斜方底直柱（即菱形ノ柱） 二ノ斜方ナル端面ト四ノ正角ナル側面、四ノ鋭稜ト四ノ鈍稜トアリ 二ノ鈍キ側辺ト二ノ鋭キ側辺 八ツノ相等キ周辺、心軸ハ端面ノ中心ノ間ニアリ 副軸ハ相互ニ向ヒ合ヘル側辺ノ中心ノ間ニアリ

蛍石 重土ノ斜形ノ平行ナル文ノ

B. 三軸アリ其二ツハ正角ノ割ニ、一ハ斜ナラズ

〇第四網 斜方底傾体、単傾体

二ノ軸ハ互ニ正角ヲ割ス 第三ノ軸ハ第三ノ正角ノモノリ

割ス

△根形ハ左ノ如シ

斜方底斜柱

歪ナル斜方柱 二ノ斜方ナル端面ト四ノ斜方ナル側面ニシテ其一面ノ中央ノ周ハ端面ニ向ヒ二ツノ副周アリ、周辺ハ四ツ鋭四ツ鈍ナリ、稜ハ二ツ鋭二ツ鈍ニ四ツノ相互ニ三ツ側稜ハ相等シ、心軸ハ端面ノ中心ニ集ル 副軸ハ側辺ノ間ニアリ

長石、蛍石、緑泥

歪ナル直角柱 長斜方底直柱形 四ノ直角ナル面、其二ツハ端面ニシテ二ハ側面ナリ 外ニ二ツノ斜方形ノ側面アリ其

四ノ側周辺アリ其二ハ鋭其二ハ鈍ニシテ

四ノ副周辺アリ、稜ハ四ハ鋭四ハ鈍ナリ、心軸ハ二ツノ相対ス

ハ直角ナル二平面ノ中心ニ集ル

石膏

○第五綱 偏体斜方 長斜方底斜柱、三傾斜体

軸ハ皆互ニ歪角ヲ劃ス

△根形ハ左ノ如シ

歪又ハ斜方底ノ柱 六ノ斜方様ニシテ皆等シカラス 互ニ側辺

ハ二ツ鋭二ツ鈍、四ツ長キ周辺ト四ノ経キ周辺アリ 其二ツハ

鈍其二ツハ鋭ナリ、稜ハ二ツ鋭二ツ鈍外ニ四ノ側稜アリ

軸ハ相互ニ背セル平面ニ存ス

アルバイト アキレニイト 長石

C 四軸ノ者 其三軸ハ一ノ平面ヲナシ互ニ六十度

ノ角度ヲ劃シテ各相等シ 心軸ハ不等ニシテ

副軸ト直ニ合ス

○第六綱 長斜方六面形 六角柱

根形ハ左ノ如シ

六角十二面形 即六角双錐形 十二ノ等脚ノ三角形ニシテ、十二ノ

底辺ト六ノ周辺トアリ、二ノ六面稜ハ即側稜ニシテ六ノ四面

ナル周稜アリ、軸ハ各稜ニ集ル

水晶、石英

六角柱 即六面柱 二ノ六角ナル正キ端面、六ノ直角

ナル側面、十二ノ周辺ト六ノ側辺アリ 而十二ノ稜、心軸ハ

端面ノ中心ノ間ニアリ 三ノ副軸ハ側面ノ中央ノ間ニアリ

博物局

石水晶　紫水晶　緑玉　翡翠　翠玉

長斜方立面形　六ノ等キ斜方面、六ノ底辺、六ノ上
下ニ向ノ周辺、二ノ等辺ナル底稜ト六ノ不等ナル三面ノ
周稜、心軸ハ底稜ノ間ニアリ　副軸ハ相互ニ等シクシテ側辺ノ
中心ノ間ニアリ」若シ心軸ハ副軸ヨリ或ハ高ク或ハ低キトキハ
鋭角又鈍ノ斜方トナル

結晶ハ多分十全ノ形ヲ顕サズ是其成形ノ時、周リ障碍
ノ有ルニ因ル、今其或ハ平面ノ其ノ外ノ大ナルモノニ寄ルトキハ、
正直ナル葉片状ノ者モ曲リタル葉片状ノモノトナル、又結晶ノ如キハ、

殊ニ一方ニカタヨルモノアリ而シテ針状又毛状ノ形ヲ顕ス且多ク集ルトキハ
星状又纖維状ノ簇晶ヲナス、其ル結晶セル礦ハ其内部ニ含ム元
求ノ全装至ヲ具フモノハ之ヲ破砕スレバ徒ニ之ヲ乖カスベシ」
結晶体ノ装至ヲ割ルヿニ因テ生スル面ヲ割截面ト名ク其面
ハ必ス結晶ノ外部ノ面ニ同シケレバ之ヲ以テ気ヲ着ルヿヲ得ベシ
故ニ不ナルモノニ結晶セル礦ニ於テ其礦ニ属スル結晶法ヲ決定
スベシ
無形体即結晶セザル礦類ニ於テハ一ノ定マル表面ナクナリ
平ナラズ、滑ナラズ定マル稜ノ如ニ集ル面ヲモ見ズシテ其外
面不規則ナル周囲ヲナス、其堅キモノハ石英礦ノ如ク斑紋ア

アルヿハ石英中ノ鉱鑛ニ於ルモノ、粒状又砂粒ナリ
或ハ弾丸状ニ近キモノアリ、其弾丸状ノ大ナルハ豆状鑛ニ於ルモノ
球状又楕円形ヲナスヿ弾丸状ジャスピスノモノ扁桃状形葡萄
形ヲナスヿ玉髄石ノモノ又腎形ヲナスヿ玉髄石ノモノ、並葺形ヲ
ナスヿ火燧石ノモノ又束ネ巻タルモノ塊片ヲナシ又ハ浮
游良ノ塊片ヲナスヿアリ
無形ノ礦物ニ於テハ一定ノ区別ヲ用ル器械上ノ区別ヲ用ルヿアタ
ハズシテ唯不規則ノ境界ナキ塊片ヲナセリ破砕セル面
平ナルヿハ玉髄石ノモノ不平ニシテ粗糙ナルヿハ硫黄ノモノ介殻状
ヲナスヿ火山玻璃、火燧石ノモノ割ルヽヿハ泥灰石硬礬

ノモノ、地ニミエルヿ コスマセミモ礦物ノモノ、土質ナルヿ埴土ノ
モノ、剥易キヿ板石ノモノ、
理学上ノ徴候ハ即チ異色、聚合、胞窠、物ヲ付ケ又剥スヿ、
感ズルヿ、響キ、光線ニ函ルヿ、電気、磁気、臭気
ニテ之ヲ函ルヿ其等ナリ
異色ハ他物ト一様ノ大サニ保ツ処ノ物体ノ量ニシテ一定ノ
温度ノ水ヲ用ユ 白金ハ二十 金ハ十九 水銀ハ十三 鉛ハ
十一 銀ハ十 蒼鉛ハ九 銅ニッケルハ八 鉄鋼
ハ七 アンチモニトタンハ六 砒、硫化鉄ハ五 重土ハ四
石英ハ二、三、三近 石膏、岩塩ハ二、二ヨリ二分近 石炭

礦石ハ一、五、倍水ヨリ重シ
凝結シタル礦物ニ甚タ堅遠アリ是堅軟ノ位階ヲナス
ノ原ナリ　モース氏ハ軟脆ナルヨリ至堅ノ礦迄ノ堅
サヲ辨ル法ヲ考定シ一ヨリ十迄ノ区別ヲ立テタリ

第一　石膏又石塩
二　滑石
三　方解石
四　五色石英
五　燐灰石
六　長石
七　石英
八　黄玉石
九　鑽石又青玉
十　金剛石

一ノ結晶物見ル時（但今此ニ所ナルハ）右ノ物体ノ各種ニ依ツテ表面ニ於テ堅三乗
定ヲ二トスルニハ礦石ハ（此礦物ヲ以テ）石ニ当テヨスリ渇ルト然ス　五色石英ヲハコスルベシ
鐵ハ先ツ之ヲ印石ニ当テ晩ク　五色石英ハ軟カナルモノト定ムベシ
鑛属ノ擦ムベキ事ヲ検スルニハ銅夾ヲ以テ甚塊ヲ砕クトキハ
之ヲ知ルベシ　故ニ大ナル又堆ナル擬ニ従フテ之ヲ甚鐵脆シ
トスフ　多ノ礦物殊ニ石英、長石ノ色固着スルヲ　石墨　滑石

ノ如ク鍛フベキ7 錫、銅ノ如ク引延バスベキ7又捩ヲ7ハ多ノ鑛
ノ如シ 弾力アル7 雲母ノ如ク 屈曲スベキ7 [illegible]ノ如シ
胞窠体ハ鑛属ニ流動物ヲ[illegible]吸収スルノ力ヲ以テ之ヲ室ム
[illegible]視光学ノ目的ハ鑛物ニ有スル多少ノ透明ナル7ニ因リテ
成ル又其色、光輝、照ス7ノ力ニ見ル
積電ニ之ヲ附ス7ハ多ノ鑛属及ヒ他ノ鑛物ニ有スル性ニテ
之ヲ使[illegible] 器械上ノ摩擦ニヨリ又温気ニ
ヨリ日ニ曝シ照ス7又積電ニ電気ヲ施シ之ヲ発スハ7ナシ
電気トハ軽キ物質ヲ着ケ又逐ニ至ル7 磁力ハ空気通
暢ノ処ニ於テ多ノ鑛物ヲ磁針ニ近クル7

多ノ鑛類ハ各種ノ物質ノ化学性ニ集合混和スルモノナリ
[illegible]ノ[illegible]子単化セル物ヲ分ツベキ者九[illegible]ヲ称シテ元素
トナリ其為ニ之ヲ金ニ属スト然モ及ニ非金石ノ二類ヲ
普通ノ多クノ元モノトス

第一 非鑛属

一 酸素　二 水素
三 窒素　四 塩素
五 衡素　六 ブロム
七 炭素　八 ヨヂ子
九 蓬素　十 燐

十一　セレニウム　　十二　硫黄

十三　珪素

第二　金属

其一　軽金属

十四　加里　　十五　ナトロン

十六　リチウム　　十七　重土素

十八　ストロンチウム　　十九　石灰素

廿　苦土素　　廿一　セリウム

廿二　ランタニウム　　廿三　イットリウム

廿四　べリリウム　　廿五　礬土素

廿六　トリウム　　廿七　ジルコニウム

其二　重金属

(イ)　卑金属

廿八　チタニウム　　廿九　タンタロム

三十　ウルフラミウム　　卅一　モリブデニウム

卅二　コロミウム　　卅三　ウラニウム

卅四　マンガニウム　マンガン　　卅五　ワナジウム

卅六　アルセニコム　砒　　卅七　アンチモニウム

卅八　テルリウム　　卅九　ビスモット

四十　亜鉛　　四十一　カドミウム

四二 鉛 四三 錫
四四 鉄 四五 コバルト
四六 ニケル 四七 銅
(ロ) 貴鑛属
四八 水銀 四九 銀
五〇 金 五一 白金
五二 パラジウム 五三 ロジウム
五四 イリジウム 五五 オスミウム

礦物學ニ於テモ亦動物学植物学ニ於ケル如ク之ヲ分ツ
其鑛属ノ性ニ從テ之ヲ區別ス ウエルネル氏ハ内部ト外
部ノ徵ニ從ヒ定メ グメリン氏ハ化学上ノ分類法ニ從ヒ
ハウイ氏ハ結晶形ト化学上ノ性質ニ從ヒ モース氏ハ結晶
形ト堅軟ト異色トニ從ヒ然レ共尤モ一ノ鑛物区別ノ眼目トシテ
今日近十分ニ自然力ニ合ヒタル法ヲ撰ビ之ニ立ツ者
適當ノモノト見ユ ノロニスチッド氏 リケン氏ノ法ヲ分
ツニ載ス 是多クノ礦物学ニ於テ採用スル所ノ 是化学上
ノ集合ニ一致シ易ク 実ノ地上ニ於テ用ユルニ宜シケレバ
ナリ

鑛物界ヲ四部ニ立ルノ目的

第一綱 土科 水ト気ニ逢テ変化セズ 火ニ逢テ

其質ニ 水ニ溶解スルモ 四目アリ 真土類 膠土類

滑土類 原土類 ナリ

○第一目 原土類 子[redacted]類

多クハ硝子様ニシテ透明セシ 鑛属ニシテ 火花ヲ發シ 銅ヲ磨スベシ

酸ニモ水ニモ空気ニモ 火ニ逢フモ 変化セシ

其一 石英 珪酸ト酸素ノ抱合ナリ 水晶 石英 紫石英
玉髄石 紅瑪瑙 縞瑪瑙 赤石 蛋白石 寄

其二 金剛石 純粋炭素ニシテ成ル 金剛石

其三 シルコン 石英トシルコン土ト僅ノ鉄ニテ シルコン

○第二目 粘土類 膠土 脂土 オッテル土

其四 鋼玉石 鏡鉄 黄玉石

其五 [illegible] 電気石

其六 ジワリート サトリリート

其七 雲母 金雲母 黄雲母 キラ [redacted]

其八 レウシート ラシュん石

其九 ワベリート 黄宝石

其十 長石 アジュうん ラヅうらいじん

其十一 瀝石 烏石（キンから） 浮石

其十二 粘土 白堊 ｜ 黄土 [redacted]

博物局

○第三目　膩土類　膩土ヲ以テ徴ス
其十三　｜　スペイキ土　褐色火山石
其十四　蝋石　葡萄酒石　海泡石
其十五　苦土　苦土石
其十六　蓬砂石　子フリート
○第四目　灰土類　石灰土　重土　ストロンチアン土ヲ以テ徴ス
其十七　灰石　土状石灰　炭酸石灰　魚卵石　[illegible]石　大理石　白雲石
其十八　石膏　硬石膏
其十九　玉色石英　コロニハーン　燐灰石
其二十　光結石　肉石　ヒペルステーン　陽起石

其二十一　重土　ガラータ　ケレステン　ストロンチアニート　井アリート
第二綱　塩類科　水ニ溶解スベク且一種ノ異味
ヲ具フ之ヲ四目ニ分ツ即土塩、鹵塩　燃性　礦性ナリ
○第一目　土塩類　即土ヲ含ム所ノ塩
其一　礬石　礬加里
○第二目　鹵塩類　即鹵汁ヲ含ム所ノ塩
其二　石塩　硇砂
其三　曹達　即ナトロン塩　蓬砂即チンカル　サツソリーン
其四　硝石　加里硝石　ナトロン硝石
其五　苦塩　瀉利塩

○第三目 燃塩 即 熾熱ニ逢ヒ焚焼ノ響ヲ発スモノ

其六 塞石 ソハリート

○第四目 礦塩 溶解スベキ礦塩ナリ

其七 石膽 硫酸ト銅ノ酸化ニ因テナル 即 銅礬 膽礬

其八 ハロイド 塩素ト鉱属ノ抱合ヲ 即 鉄ハロイド 鉄酸 塩ト分子

第三綱 可燃体 即 燃ヘベキ物ヲ成ス鉱属ニテ

四目ニ分ツ即 土様 脂様 臓様 礦様ノ可燃体ナリ

○第一目 土様可燃体 即 煤類 溶解シ易クシテ燃ヘ易キ

ノ礦物ナリ

其一 黒煤 炭素ト土及ヒ鉱属様ノ混交ニナル 無烟石炭ヲ石炭 ケ

其二 褐煤 炭素ト水素酸素ヲ外土質ノ混交ニナル 即 褐炭 泥炭

○第二目 脂様可燃体 脆キ烈香アル物質ニシテ

燃ヘ易ク 又ハ 水素ニナルモノナリ

其三 硫黄

其四 土脂 琥珀 地瀝青

○第三目 臓様可燃体 動植物質ニ成ル臓又油

似タルモノ

其五 臓土 山臓土 ナフタリート

其六 土油 石油 山漆

○第四目 礦様可燃体 礦ヲ含ムモノ

其七 石墨 炭素ニ四分ノ一ノ鉄ヲ含ム 時トシテハ又石英及粘土ヲ交ユ

礦質科 単ナル鑛性ノ物質ニシテ大ニ異ナアリ

第四綱

鎔解スベク其堅サ火石ノ上ニ出ズ 鑛属之ノ類ト

色アリ 四目ニ分ツ即 酸化、酸性酸化 硫化鑛 混和鑛

○第一目 酸化重鑛属

其一 鉄酸化 密ナル赤鉄石 磁鉄 コロ一ム礦 亜鉛鉄石 鉄礬石 グラスコプ

其二 酸化満俺 重ナル満俺礦 マンガニート

其三 酸化亜鉛 錫スパート 錫石 ウランピク礦

其四 アンチモン酸化 白アンチモン礦 白砒礦

其五 酸化銅 赤銅礦 キウプ礦

其十六 硅化土 アニケモ土 土コバルト

○第二目 酸性酸化 即 酸ト抱合セル酸化

其十七 スパートト鉄石 ヒヒアニート 沼礦

其十八 亜鉛礦スパート 即 爐眼石 亜鉛硝子礦

其十九 満俺スパート マンガン礦

其二十 鉛礦 緑鉛礦 白鉛礦 銅鉛礬

其二十一 角状銀 鉛銀

其二十二 孔雀石 珪酸銅 銅藍石 石青 カリヘニート

其二十三 ウラニート コバルトブルーム ニッケルブルーム

○第三目 硫化鑛類 並鑛属ノ可燃物ト抱合スルモノヲ云フ 通常硫黄ト合ス

博物局

東京大学総合図書館

其ノ十四　硫化鉄　硫化砒　ガランスコベルト　硫化銅

其ノ十五　銅ガラース　銀ガラース　銀ハーレン礦　水鉛

其ノ十六　亜鉛ブレンデ　硃　レーレンガル 代赭石　ロイスゲルン

○第四目　混和礦類　多少他物雑たる礦属り

其ノ一　混和鉄

其ノ二　混和銅

其ノ三　〃〃　鉛

其ノ四　〃〃　蒼鉛

其ノ五　〃〃　テルリウム

其ノ六　〃〃　アンチモニ

其ノ七　〃〃　砒

其ノ八　〃〃　汞

其ノ九　アマルガマ

其ノ十　混和銀

其ノ十一　アンチモン銀

其ノ十二　混和金

其ノ十三　〃〃　白金

其ノ十四　〃〃　パラジウム

其ノ十五　〃〃　イリジウム

其ノ十六　砒　イリジウム

博物司

化學鑛學術語字彙

明治五年ノ開拓使學校掛宮里正静野村致知ノ頼ニ依テ八月十八日譯ス漸ク落成ス其内化学語ハ足立寛ノ所譯也

田中芳男譯
小野職愨寫

地質学訳語中ノ抜萃

Oxigen	酸素
Silica	白燧石 (酸化硅石)
Oxide of iron	酸化鉄
Hydrogen	水素
Bituminous coal	上好石炭
Carbon	炭素
Nitrogen	窒素
Fossil	化石
Coal	石炭
Carbonate of lime	炭酸石灰

博物局

東京大学総合図書館

Lime stone	石灰石	石灰礦
Sulphur	硫黄	
Iron pyrite	硫鉄石	硫化鉄留
Sulphuret of iron	硫化鉄	
Sulphuret of lead	硫化鉛	
Galena	鉛鑛	硫化鉛
Lead ore	同	
Sulphate	硫酸鑛	
" of lime	硫酸石灰 即 石羔	
Chlorine	塩素	

Sand tubule 珊瑚虫

Rock salt	山塩	
Chloride of sodium	同上ノ成分	格魯曹留母 食塩
Fluorine	衡素	
Fluoride of calcium	衡化カルシム	
Fluor spar	同 即 五色石英	
Phosphorus	燐	
Phosphate of lime	燐酸石灰 即 骨ノ成分	
Silicon	珪素	
Aluminium	礬素	
Oxide of aluminium	酸化礬素	

東京大学総合図書館

Slate 板石

Felspar. 長石

Slate rock. 板石岩

Oxide of calcium 酸化カルキウム即石灰

" " magnesium 酸化マグネシウム即苦土

~~Carbonate of iron~~ 炭酸鉄

Mica 雲母石 金星石 雲母ノ類ナリ

Horn blende 角閃石 光保石

Trap rock 梯石

Augite 輝石 又 閃石 アウギート

Talc, 滑石 Chlorite, 緑泥石 Steatite or Soapstone. 蠟石一名 蠟石

Serpentine, 蛇紋石 Dolomite 白雲石一名 Alabaster. 硬石膏

Epsom salt. 舎利塩

Tourmalin 電気石

Schorl 同

iron ores. 鉄鑛

Carbonic acid 炭酸

Sulphate of iron 硫酸鉄

Copperas 同 即 緑礬

Oxide of iron 酸化鉄

Calciferous sandstone 石灰砂石

Tufa	溶石 此名アリ、軟灰石	火山灰
Travertin	同 硬灰石	
Stalactites	石鐘乳	
Stalagmites	石脉	
Hydrate of iron	水化鉄	
Bog iron ore	泥滓鉄鑛	土殷孽一名
Shale	泥板石（ネバツケイし）	サール
Asphaltum	山松香一名地瀝青	
Mineral pitch	同	
Seneca oil	石油 所謂石炭油	

M. Spring.

Lava	熔火石	火山石
Trachyte	粗面石	タラミート
Obsidian	火山玻璃	熒臺玻璃
Mineral Water	鑛泉	
Sulphur Spring	硫黄泉	
Coral Zoophytes	珊瑚虫	
Animalcules	顕微鏡虫	
Meandrina	脳珊瑚	
Caryophylla	石竹珊瑚	
Star coral	星珊瑚	

[illegible]
[illegible]
五丁目五番
田中様
一宮廣數
拝呈

red coral
Pipe coral

紅珊瑚
管珊瑚

東西之方

一枚數ヲ減スルコト

是ヨリ以テ博物學自然ニ於ケル放射ヲ
[illegible]

ミラクイト

アルカライ

Cabala

Imale

大書ヤ

[illegible]

Bonke

Phaenicia

下ノス兜名

[illegible]

試驗表

[illegible]

東京大学総合図書館

別ニ偏ニ[illegible]

○其字ニ入ヘ 類字名 但シ本文ハ字名ヲ[illegible]

㉖ ㉓ ㊀ ㉕ ㊈㊆

單形

匍匐形

蒲[illegible]

[illegible]

仮名

○[illegible]

○[illegible]ノ[illegible]

全

○或ハ一名アリ

○原書ノ文字ナク

○読字ノ「

○成[illegible]一路是ノ[illegible]

シニチラ 假喩、[illegible]

シヤクドウ 赤金

シブイチ 朧銀

カラカネ 青銅 [illegible]

サハリ 響銅 [illegible]

シヤリ [illegible]

シロメ 白鑞 [illegible]

カイシュ 銅錫[illegible]

[illegible]

一 凡例

一 書名表

一 目録、丁数ノ

一 産地集

一 本文ノ丁数

十三年四月四日
杉村[illegible]
田中

田中芳男様
会名[illegible]正[illegible]之件
希[illegible]報

[illegible]番号刷立[illegible]有之[illegible]雛形[illegible]
又[illegible]刷立[illegible]度[illegible]十七[illegible]
刷[illegible]
此[illegible]

和田[illegible]

東京深川区[illegible]
和田維四郎殿

十三年四月四日
杉村東藏
[illegible]

Veldspath 長石
alabaster 白大理石
hornblende Tourmarin
Sianite [illegible]
Talk 滑石
Chlorite [illegible]
Steatite [illegible]
Serpentin [illegible]
Dolomite [illegible]

フリュヲル 衛素 カウ気

Augite

其六

コロンステッド 及 オーケン氏 鑛物區別

第一綱 土類

カルチナール
石榴子
瑪瑙
金剛石

此鑛石十八品ハ近江國愛知郡[illegible]
政府鑛山寮長杉村次郎氏ノ贈ル[illegible]
所ニテ[illegible]政府ノ鑛山ニ係ルノ外[illegible]
皆近年同氏ノ発見スル所ナリ[illegible]
今此數中ニ装置シテ[illegible]
[illegible]
明治十三年八月[illegible]
田中芳男 記

Veldspath 長石

alabaster 白大理石

hornblende Tourmarin

Sianite 黒灰崗石

Talk 滑石

Chlorite チゾアアイト 緑泥石

Steatite 凍石

Serpentin 葡萄石

Dolomite 白雲石

カウ 衞素 フリュラル 気

Augite

丁内資料 東京大学総合図書館

2341

此鑛石十八品ハ近江國愛知郡……政府鑛山寮長杉村次郎氏ノ贈ル所……
所ニシテ……鉛鑛……ノ外
皆近年同氏ノ発見スル所ナリ……
今此數中ニ装呈シテ……同氏ノ賜……
……金石……供ス……

明治十二年八月九日　田中芳男　記

……

鑛物區別
コロンステッド 及 オーケン氏

第一綱　土類

○第一目　原土類 即 火石類

- 其一　火石（クハルツ）
  - 水晶（キリソバース）
  - 火石
  - 碧石英
  - 玉髄（カルセドニー）
  - 朱石
  - 猫児眼石
  - ヒドロパーン
- 其二　鑽石（ジアマント）
  - 純粋炭素
  - 金剛石
- 其三　シルコーン
  - 大石ト シルコニエト合スルモノ 之ヲ含ム

○第二目　粘土類

- 其四　コリユニト
  - 粗母様
  - トパース
- 其五　スコオル
  - ツルマリン
- 其六　セヲリト
  - ナトロリト

（朱書）瑪瑙　金剛石　石榴子　……　金剛石

其七　雲母　グリムメル　マリアガラス

其八　レウレート　うじょんステン

其九　ワーフルリート　チユルヤス

其十　長石　ヘルドスパート　アデユラール

其十一　滑石　ビツキステーン　紋刷石　ボームステーン

其十二　粘土　レーム　陶土　カラーン　ホルレンス　アールデ　ゲルアールデ

○第三目　膩土類

其十三　タルクエーデルステーン　スピチン　キリソリート

其十四　蠟石　スペッキステーン　セルペンチーン　蘭葡石　メールスコイム

其十五　マグネシート　マグネシートスパート

其十六　ボラシート　チフリート

○第四目　灰土類

其十七　灰石　カルク　炭酸石灰　方解石　斑石　マルメル　石灰土　ストロンチアニ土

其十八　石膏　ギプス　アルバスト　雪花石膏

其十九　五色[illegible]石英　フルーイスパート　ソロ、ハーニ　アパテイト

其二十　ホールンブレンデ　アカギート　ヒーペルステン　石絨　アスベスト

其二十一　重土　ズワールスパート　バレート　クーレステン　ストロンチアニート　ウイテリート

○第二綱　塩類

○第一目　地塩類　土類ノ塩　水ニ溶解シテ一種ノ味アリ

其一　巻石　アルイン　カリアルイン　アリユミニート

東京大学総合図書館

○第二目 鹵塩類 鹵ヲ含ム塩

其一 石塩 ステーンソート （サルミヤク）硇砂 食塩

其二 曹達 ソーダ 即ナトロニソート ボラキス 蓬砂 ツーテンタル サッソリイン ケボールニューン

其三 硝石 サルペートル カリサルペートル ナトロニサルペートル

其四 苦塩 ビッテルソート 厚利塩 ガラウベルソート 芒硝

○第三目 燃塩類 燃火ニ因テ燃焼スルモノ

其五 蓬石 ボーニフステーン 即メルソート コバリート即ヒュニボルドテート

○第四目 礦塩類 溶解スベキ鑛属塩之

其六 石膽 ヒトリオール 即硫黄ト金ト鑛酸化ノ配成 （膽礬 緑礬 皓礬）

其七 ハロイデン 即コロリウムト鑛属ト塩様ノ化合（鉄ハロイ■、鉄サルミヤク）

第三綱 燃質類 [redacted]

可燃質ヨリ成立ツ鑛属

○第一目 土性燃質類 即煤類 前ニ溶解セズメ直ニ燃ユル山物

其一 黒炭 ズワルト コーレン アンタラシート 炭素ト土又鑛類ノ交リモノ 即石炭

其二 褐炭 ブロイニコーレン 泥炭 膏凮 炭素ト水素酸素並ニ土様ノ者ノ交ルモノ

○第二目 [redacted]脂性燃質類 ハルスアクチヘ 即ブローズ 松ノ香ノ物 燃ヘ中 芳キニホヒアリ

其三 硫磺 ズワーフル

其四 土腊 ハルセニ 琥珀 コハク アスハルト クロク

○第三目 [redacted]性燃質類 ヘッチヘ 柔脆ニメ 膩又油ニ似タルモノ

其五 膩[redacted] タルク ベルグタルク ナフタリート

其六 油 オリー 石脳油 ステーニオーリー ベルグテーン

○第四目 礦物性燃質類 鑛属ヲ含ム者

其七 石墨（ポツトロード） 炭素ニ四分ノ一以上ノ鉄ヲ含ム 時トシテ火石 粘土ヲ交ユ

第四綱 礦類 單純ノ鉄性物質 大ニ堅アリ 其堅サ火石 鉄輝 メタールグランス 鉄色 メタールコロウル 鑛觧スベシ

○第一目 酸化（オキシイデン）類 酸化シタル重鑛属

其一 酸化鉄（エイゼンオキシーデ） 密ナル赤鉄石 鉄輝 磁鉄 コロームエルツ 亜鉛鉄石

其二 酸化満俺（マンガーンオキシーデ） 柔ナル満俺礦 ガラスコップ マンガニート

其三 酸化倭鉛（シンキオキシーデ） チニスパート ウラーニーピッケルス

其四 酸化安質母尼（アンチモニーオキシーデ） 白アンチモ礦 白砒礦

其五 酸化銅（コーペルオキシイデ） 赤銅礦 セーゲン礦

其六 オケン スピースガラーンス オーケン アーンドブハルト

○第二目 酸性酸化類 酸類ト抱合セル酸化物

其七 スパート エイゼンステーン ヒ、アテート ムーラス礦

其八 シンキスパート 爐眼石（カルミ） シンキガラス礦

其九 マンガーンスパート マンガーンニキーセル

其十 ロードエルツ ゲルーンロード礦 白鉛礦 銅鉛ヒトリオーン

其十一 ホールンシルフル ホードシルフル 鉛銀

其十二 マラシート 蝦蟆背石緑 キーセルコーペル コーペルラシュール 石青

其十三 ウラニート コバルトブルーム ニッケルブルーム オリヘニート

○第三目 硫化鑛類 鑛属可燃質ト抱合シ又通ニ硫黄ト抱合ス

其十四 硫化鉄（ズワーフルエーゼン） 硫化砒（ズワーフルアルセニクム） ガラーンスコバルト 硫化銅

東京大学総合図書館

其十五　コーペルガラス　シルフルガラス　シルフルハーレルス　水鉛

其十六　レンキブレンデ　砆　鎔銅雄黄　ロイスゲン

○第四目

混和礦類（ゲデーゲンエルテン）

多ク純粋ナル鑛ノ合ム

其一　混和鉄

其二　混和銅　真鍮　青銅　赤銅

其三　、、鉛　白鑞

其四　、、蒼鉛

其五　、、テルリウム

其六　、、スピースガラス　イヨジロミ

其七　、、砒

其八　、、汞

其九　アマルガマ

其十　、、銀

其十一　スピースガラス　シルフル

其十二　、、金

其十三　、、白金

其十四　、、パルラジユム

其十五　、、イリジウム

其十六　砒　アルセニキュム　イリジウム

1.	絲状灰石（セテンスパール）（アラゴナイト）	近江國阪田郡大久保村
2.	螢石（フリユライト）	伊勢國員辨郡石榑南村
3.	螢石（〃）	但馬國養父郡大野村
4.	硅灰石（ウラストナイト）	伊勢國員辨郡石榑南村
5.	ダイヤレージ	近江國愛知郡九居瀬村
6.	長石（ヲルトクレース）	同 栗太郡里村
7.	長石（〃）	同 牧村
8.	天河石（アマゾンストーン）	美濃國恵那郡蛭川村
9.	黄玉石（トーパス）	近江國栗太郡里村
10.	黄玉石（〃）	伊勢國員辨郡石榑南村

文斤廣山

黄玉入石英（クワーツペネトレーチングトパーズ）	近江國栗太郡里村		11.
鐵青石（ブルーアゾール）	同	蒲生郡蒲生堂村	12.
方鉛鑛（ガレナイト）	同	愛知郡政所村	13.
粒硫鉛鑛（グラニユラールガレナイト）	同		14.
黄銅鑛（シヤルコピーライト）	同	九居瀬村	15.
硫砒鐵鑛（アルセノピーライト）	同	政所村	16.
紅滿俺鑛（ゴードナイト）	同	蛭谷村	17.
含水滿俺鑛（マンガナイト）	同		18.

明治十五年田中大書記官北海道巡回ノ時採集ニ係ル化石巖石類

北海道

浮石		二	膽振勇拂郡苫小牧
褐炭		二	陸前宮城郡仙臺
石炭	黒色ニシテ光輝強シ或ハ褐炭ナルヘシ	一	磐城伊具郡伊手村
玉昌石	節アル泥板石ナリ 俗呼テ杢ト云	一	雄勝郡ヨリ出ツ故ニ雄勝石ト云フ
木化石		一	青葉城趾
介化石	始高ノ化石ニシテ新層已ニ発見スヘキ種類ナリ	二十	仝所
白瑪瑙		一	膽振山越内郡
バサルト晶	円塵ヲ卵形トナセシノ	一	根室
硅石	赤白色雜駁	一	膽振勇拂郡苫小牧
浮石		四	膽振室蘭郡鷲別
火山チコハ	伊豆ノハダラ石ノ如キ部ト細末ノチコハトノ二様ヲ混ス	八	陸奥二戸郡末ノ松山

浮石		一	釧路仙鳳趾
硅石		一	仝所
鼠色ノ粘土		三	茅沼石炭層ヨリ出
チコハ晶石	暗黄色砂様ノ混淆シテ成ル四形ノ者 蓋空孔中ニ生ハ沈積シテ凝集セルモノナラン	一	小樽祝津
分化石		一	陸奥二戸郡
分化石		一	豊田川上一里許ノ所
朱紅角硅石等ノ小粒石		十	釧路厚岸郡
ラバ	掛色ニシテ針孔多キモノ	一	後志島小丹
緑晶石 グイヤベース	深緑色	一	仝所
チコハ	楕円ノ小石ニシテ孔アルモノ	一	函館瓦澤邊
仝	四形ノ小石虎斑アリ	四	陸前宮城郡松島
バサルト	黒色バサルト中黄色脂光アル者ヲ含ム	一	根室
津軽瑪瑙		三	磐城亘理郡
トラカイト	青色斑孔	一片	小樽祝津ニ人家ノ築石同山
花崗石		一片	函館
各色ノ小石		数粒	釧路昆布森
粘土石ノ擦レタル片		八片	褐鉄層
鯨骨片	辛現出黒色ニシテ軽シ	一	青葉城邊
チコハ凝石		四	宮城縣荒巻村字三居沢

以上

東京大学総合図書館

鑛物石品化石目録　十二年四月十七日　高岡雅彦所贈

一 水銀鑛　大和宇陀郡駒帰村字田中　朱石トアリ　一
一 鉛鑛　秋田太良　一
一 銀鑛　但馬生野　上等モノ也　二
一 霰石　信濃安曇郡平村　三
一 自然銅　信濃小縣郡武石村　方言 武石　石廿一片ト　五拾
一 縞石　志摩英虞郡越賀村　方言 垂虹石（スイコウセキ）　二
一 紫石　長門赤間　硯石　一
一 介化石　長門美禰郡秋吉村　大理石山産　一
一 石蛤　秋田阿仁銅山中産　一
一 介化石　北海道幌内炭山ノ内　本番割炭山　鑿洞ノ産　一

〆十品

田中芳男

明治十六年四月十七日高瀬雅彦ヨリ来ル金石目録

一 羽后阿仁三枚銅山産 二

一 〃 太良鉛山産 一

一 生野銀鑛 上等ノ者 二

一 羽后阿仁小沢産 硫化鉄 二

一 秋田太良鉛山 一

一 信濃国安曇郡平村産霰石 三

一 〃小縣郡武石村 自然銅 六

一 志州産 縞石（志摩国英虞郡越賀村方言スイコウ内紅石） 二

一 北海道幌内炭山内幾春別炭山谿間産 貝化石 一

一長門国美禰郡秋吉村大理石山産 異化石 一

一大和国宇陀郡駒帰村字宙中水銀鑛 朱石 一

一阿尼東京産 銅鑛 三朶 三

一同 二ノ股産 銅鑛 二朶 三

一同 一

鑛石目録

明治十年内國勸業博覧會場買上
分配十個ノ一

田中芳男

岐阜縣

(一)硫黄　飛彈國益田郡小坂村字濁川山
　　　　　同國同郡朝日村　新井久兵衛

(二)銅鑛　美濃國武儀郡柳野村字東洞
　　　　　同國不破郡今須村　河地兵内

(三)石炭　美濃國可兒郡比衣村字打越山
　　　　　同所　吉田三郎

（四）石灰原石

（五）銅鑛
飛彈國吉城郡神岡村 跡津川組 字大ボラ
同國同郡古川町 重山又七郎

（六）銅鑛
飛彈國吉城郡神岡村字前平
同國大野郡高山町 若山忠太郎

（七）銅鑛即チ銅鉛鑛
美濃國郡上郡畑佐村字桐谷洞
同所 原莊次郎

（八）銅鑛
飛彈國吉城郡神岡村 和佐保組 字ズリ谷
同國大野郡高山町 早川清吉郎

（九）銅鑛即チ鉛鑛
飛彈國益田郡馬瀬村 黒石組 字西カナヤ
同國大野郡位山村 内木友三郎

（十）銅鉛鑛
飛彈國吉城郡神岡村 東添山組 字取切山
同國大野郡高山町 三輪源次郎

（十一）砥材

美濃國本巣郡外山村字小洞

同所　後藤啓助

（十二）銅鑛

飛彈國吉城郡神岡村鹿間組字蛇腹平

同所　追分伊助

（十三）鑛石　［硫化鉛］

美濃國郡上郡寒水村字表山

同所　熊﨑喜平

（十四）鉛銅鑛

美濃國郡上郡畑佐村字エゴセ

同所　原半次郎

（十五）鑛石

美濃國本巣郡大松村字金山

同所　井上孫三郎

（十六）銅鑛　即チ鉛銅鑛

飛彈國益田郡高根村道郷山字スサゴ字カラアツ

同所　水本權三郎

（十七）

飛彈國吉城郡神岡村和佐保組字東平産

東京大学総合図書館

(十八) 方鮮石
美濃國不破郡壹飯村字岩原
同國同郡赤坂村 失橋孫市

(十九) 銅鑛
美濃國加茂郡飯地村字岩浪
越前國敦賀郡敦賀港澤田近次郎 外一人

(廿) 銀銅鑛
美濃國郡上郡畑佐村字カジマ谷（ヤ）
同國各務郡芥見村篠田三郎兵衛 外壱人

(廿一) 鑛石 即チ抜石
美濃國大野郡北方村字城山
同所 岩間市三郎

(廿二) 硫黄 即チ硫化鉄
美濃國土岐郡久尻村字欠ヤナ
同所 山村保平

(廿三) 銀銅鉛鑛
飛彈國大野郡莊川村三谷山字小谷
同國同郡高山町 光賀吉右衛門

愛媛縣

(卌四) 銀鑛

岐阜縣

(卌五) 方鮮石　美濃國武儀郡富ノ保村字岩山崎
同所　土屋嘉右衛門

(卌六) 銀鉛鑛　飛彈國吉城郡神岡村跡津川組字間山谷
同所　久志長左衛門

(卌七) 石灰原石　大　郡大谷田村

(卌八)　加藤郡南渡村字津山

(卌九) 青燧石　美濃國多藝郡白石村字屏風岩
同所　田中弥三郎

東京大学総合図書館

(丗) 銀雲母　美濃國恵那郡蛭川村字狭間石

同國同郡中津川村　高木勘兵衛 外壱人

(丗一) 黒雲母　美濃國恵那郡田代村字西山

同所　西尾仙右衛門

(丗二) 銅鑛　飛弾國大野郡莊川村山内字 菅尾 字入谷

同國同郡高山町　羽根與一郎

(丗三) 銅鑛　飛弾國吉城郡神岡村 和佐保組 字前ヒラ

同國大野郡高山町　島田弥右衛門

(丗四) 緑礬　美濃國大野郡宇津志村

同國本巣郡長嶺村村瀬範左衛門

(丗五) 銅鑛　飛弾國益田郡川西村 四美組 字ホソホラ

同國大野郡高山町田中長吉

(丗六)　美濃國池田郡上東野村字十九石

東京大学総合図書館

（廿七）銀鉛鑛　飛彈國益田郡川西村 四美組 字桐ホラ
同國大野郡高山町山﨑文吉

（廿八）銅鑛　飛彈國吉城郡神岡村 鹿間組 字源織谷
同国大野郡高山町川上與平

（廿九）硅酸礬土

（卅）飛彈國吉城郡神岡村 鹿間組 字管澤

（卅一）銅鑛　飛彈國大野郡莊川村寺川戸組 字井ノヒラ
同國同郡高山町寺境（ジケイ）小七郎

（卅二）銅鉛鑛　飛彈國益田郡馬瀬村字コブキ
同國大野郡位山村小田彦六

（卅三）銀鉛鑛　美濃國郡上郡相生村字坂ノ平

東京大学総合図書館

同所　吉田官周

(四四)　銅鑛　飛彈國大野郡莊川村字家ノ高
同所　竹野忠右衛門

(四五)　銅鑛　フツオンカレキ 即チホタルイシ　飛彈國益田郡三江村吉次組字川田洞

(四六)　フツオンカレキ 即チホタルイシ

(四七)　銅鑛　飛彈國大野郡莊川村猿九組字下野
同國同郡高山町小西平藏

福島縣

(四八)　磁石　越後國蒲原郡谷花村萬澤
同國同郡津川村清田基吉

(四九)　銅鑛　岩代國大沼郡中川村字河原井戸
同國同郡大芦村五十嵐善八

東京大学総合図書館

(五十) 銅鑛 岩代國大沼郡大石田村字小宋山

同國同郡五疊敷村猪股安次

(五一) 岩代國

岩代國大沼郡大芦村 五十嵐善八

(五二) 金鑛 越後國蒲原郡内川村字本岩崩

同國同郡津川村 清田臺吉

(五三) 鑛石 岩代國河沼郡下谷村字畑ヶ澤

同國同郡野澤村 渡邉亀松

(五四) 銅亜鉛鑛 岩代國大沼郡玉梨村字コバチ山

同國同郡大芦村 五十嵐善八

(五五) 銅鑛 越後國蒲原郡鹿瀬村字中岩瀬

同所 實澤次郎吉

(五六) 銅鑛 岩代國河沼郡飯谷村字姥澤

東京大学総合図書館

同國同郡中川村　前田新六

(五十七)　緑青石　越後國蒲原郡内川村字本岩鋪

同國同郡津川村　清司彦吉

(五十八)　鑛石　岩代國大沼郡軽井澤村字太平山

同國同郡米田村　齊藤與重

(五十九)　銅鑛　越後國蒲原郡廣谷村字一着

同國同郡豊川村　中島勇吉

(六十)　銅鑛　岩代國大沼郡西木村字曲々澤

同國同郡立石田村　山口佐五郎

(六十一)　銅鑛　岩代國會津郡福井村字瀧村

同所　五十嵐弥一郎

(六十二)　銅鑛　岩代國會津郡田子倉村字金山澤

同所　目黒傳平

東京大学総合図書館

(六三) 鉄鑛 越後國蒲原郡廣谷村字西大平
同國同郡豊川村 中島勇吉

(六四) 鑛石 越後國蒲原郡鹿瀬村字船内澤
同所 實澤次郎吉

(六五) 鉛鑛 岩代國會津郡湯花村字舞澤
同所 川越文次郎

青森縣

(六六) 硫化鉄鑛 又黄鉄鑛 陸奥國三戸郡田子村字相米又澤
縣廳

福島縣

(六七) 銅鑛 岩代國會津郡蒲生村字赤岩
同國同郡若松 倉田與一郎

(六八) 鉄鑛 磐城國石川郡母畑村字辺山
同所 木戸郡一良

東京大学総合図書館

(六九) 銅鑛

岩代國會津郡叶津村字福貴平

同國同郡蒲生村馬場新十郎

山形縣

(七十) 羽前國村山郡幸生村

秋田縣

(七一) 肉燐石

羽後國雄勝郡池内村

(七二) 砥石

羽後國雄勝郡稲庭村

縣廳

青森縣

(七三) 硫黄

陸奥國北郡奥瀬村字赤倉嶽

縣廳

島根縣

(七四) 鐮石

伯耆國河村郡上橋津村字馬ノ山

同所　〔橋〕福井與七

山形縣

（七五）大赫石　田川郡大中島村字東山

（七六）

石見國鹿足郡邑輝村堀敬一郎

秋田縣

（七七）　陸中國鹿角郡白根鑛山朱石

島根縣

（七八）

（七九）硝子石

出雲國大原郡上久野村　福間喜代三郎

秋田縣

(八十)燧石　陸中國鹿角郡松山村字カト長根

同所　板橋勘作

(八十一)満俺　羽後國秋田郡沼館村

縣廳

(八十二)銀鑛　羽後國由利郡上笹子村

縣廳

島根縣

(八十三)

伯耆國八橋郡三本杉村　堀尾宗平

青森縣

(八十四)鑛物　陸奥國三戸郡田子村字総中澤

縣廳

(八五) 硫化鉄鑛 又黄鉄鑛

陸奥國三戸郡田子村字小瀧澤

縣廳

(八六) 硫化砒石 満俺鑛

陸奥國三戸郡田子村字金坪澤

同所

縣廳

(八七) 硫化鉄

陸奥國津軽郡碇関村字金山澤

同所

山田久助

石川縣

(八八) 鉛鑛

越中國新川郡長棟村

同所

山崎壹六

高知縣

(八九) 硯石

土佐國安藝郡元村

縣廳

石川縣

(九十) 黒鉛

越前國丹生郡大虫村丹尾新七郎

（九一）ライム、チェフア

越前國大野郡上打波村

同國第十八大區十二小區田野村林彦一

（九二）硫黄

青森縣

（九三）鉛鑛

山形縣

（九四）銅鑛

高知縣

土佐國幡多郡上田ノ口村

同國同郡與力町北原雄敏

（九五）自然銅

山形縣

木ノ俣

石川縣

（九六）硫黄　越中國新川郡立山湯原谷

同國富山桃井町石黒松堂

島根縣

（九七）・　伯耆國日野郡西村安達平三郎

福島縣

（九八）代赭石　越後國蒲原郡神谷村字大牧澤

同國同郡豊川村中島勇吉

（九九）鉛鑛

（百）方解石　磐城國田川郡上大越村

同所　村山孫十良

（百一）丹礬　製造人　岩代國河沼郡飯谷村字姥澤草田親義

同國同郡中川村　前田新六

岐阜縣

(百二) 滑石　美濃國恵那郡付知村字正ヶ脇
　　　　　同所　曽我長四郎

福島縣

(百三) 鉛鑛　越後國蒲原郡谷花村字小橋澤
　　　　　同國同郡津川村　清田臺吉

(百四) 砂鉄　岩見國鍋石郡　江尾護國

秋田縣

(百五) 鉄砂　羽後國仙北郡田澤村
　　　　　同所　伊藤與吉郎

(百六) 白砂　羽後國仙北郡田澤村
　　　　　伊藤與吉郎

東京大学総合図書館

（百七）砥石　羽後國秋田郡七日市村

同所　長岐八左衛門

岡山縣

（百八）鞭柄　製造人　備中國川上郡成羽村渡辺留吉

大坂府商　上杉新兵衛

山形縣

（百九）白土　羽前國村山郡高原村字瀧ノ澤

縣廳

兵庫縣

（百十）結晶物　但馬國城崎郡湯島村

同所　鈴木佐一郎

秋田縣

（百十一）白黒交砂　羽後國仙北郡生保内村

同所　田代敬之助

高知縣

東京大学総合図書館

(百二)硯石　土佐國高岡郡宇佐村

縣廳

(百三)

(百四)

島根縣

(百五)水鉛　出雲國意宇郡玉造村字玉宮

青森縣

(百六)焼石　陸奥國津軽郡小田川村字深澤

同國同郡五所川原村　三橋文平

秋田縣

(百七)白辟　陸中國鹿角郡松山村

同所　松橋勘作

(百八) 鉛鑛

青森縣

陸奥國津輕郡相馬村字作澤

縣廳

(百九) 石灰石

出雲國意宇郡玉造村今川彦左衛門

青森縣

(百十) 粘土

陸奥國北郡野辺地村字與田川尻

縣廳

(百十一)

(百十二) 粘土

陸奥國北郡七戸村字西野

縣廳

東京大学総合図書館

(百三) 銀鑛

出雲國島根郡新材木町安達惣右衛門

(百四) 銅鑛

出雲國島根郡手角村田部長右衛門

青森縣

(百五) 粘土

陸奥國北郡沙子又村字メシトリ澤

縣廳

高知縣

(百六) 銅鑛

土佐國土佐郡中ノ市山

同國同郡朝倉村門田慶次郎

東京大学総合図書館

東京大学総合図書館

埋木 并 木炭 及 化石

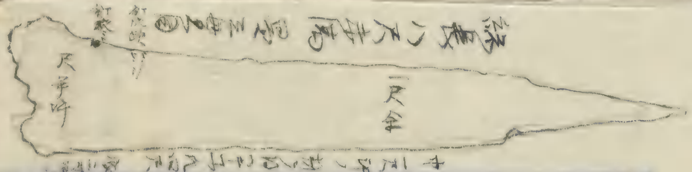
埋木ハ陸前名取郡名取川ノ産ニシテ従来各種ノ器物ヲ作リ出スヿ久シ且名世ニ高カリシ其質ニ全ク炭化木ニシテ該川ノ水中ヨリ掘リ出セリ又同所ヨリ出ヅルモノハ内全ク埋没セル木材ニシテ未タ炭化セザルモノアリ是モ埋木ノ部ニ入レド是ハ東京ニテ神代木ト称スルモノニ[illegible]ナリ其等ノ品類并ニ埋没ノ深浅等ハ実地ヲ見ザレバ詳ラカナラザレドモ必ズ深浅アリテ年代ニ大ナル差アラン

近年ハ名取川ヨリ出ズル少ク却テ仙台ノ城山并ニ其近辺三四ケ所ヨリ出ズ其内一ケ所ハ鎮台ノ管轄ナリシ今ハ堀ル事ナシトイフ城山ノ南方山續キ愛宕山アリ其坂道ノ上下ニ木炭ヲ堀

ル所アリ又城山ノ北之山屋敷ノ山腰ニ木炭ノ出ル所アリ
又城山ノ西方一里許ノ地ヨリ出ス此木炭ノ出ル千八郎ナ埋
木ヲ代替セ出ルト聞ク余ノ仙臺ニ滞在中右山屋敷ニ至
リ坑ヲ見ルニ壹山ニ坑ヲ穿ツテ數ケ所ニシテ木炭層ハ
厚サ三尺許ノ下ニ蒼色粘土ノ層厚サ七八寸アリ其下ニ
埋木層アリ厚サ三四尺モアルヤ下ノ方ハ土ニ入リテ境ヲ
見ズ此木炭ナルモノハ石炭ノ幼稚ナルモノニシテ片ニ剥ケ
易ク層膜ヲ組楼交錯セル材理ヲ認ム濡タルハ直黒漆ノ如ナル
乾タルハ較淡ク之浮ヲ堀出シテ新材トス故ニ市中ニ此品ノ商
店ヲ数所ニ見ル価極テ廉ナリ一家ノ浴室一日ニ費ス所一束ニ

充スト云フ 埋木ハ粘土ノ層下ニ厚キ層ヲナスモ多クハ片材
ノ堆積スルモノナレバ巨材ヲ得ルコトナク珠ニ円材ハ更ニナシ唯
木炭ニ比スレバ大ニシテ尚木質ヲ存シ鋸鉋ニ堪ルヲ異トス
此埋木層ヲ熟視スルニ皆破砕セル木材ノ組楼交錯セル
モノナレバ此集合スル理由ハ地質学上ニ譲リテ茲ニハ省ク
右ノ理由ナレバ材ノ厚サ寸以上幅尺以上ノ者ヲ得ル事ハ
易カラズ此埋木層ノ中ニ皮ハアルモ葉実ハ見ルコトナシト
云フ此埋木ハ一ケ年ニ三四間堀出シ材ヲ擇テ床棚
ニ上セ乾カシテ之ヲ細工ニ用ユトイフ此山屋敷ハ小十士族邸
者ノミニテ細工ヲナス家十余家アリト雖モ其細工ハ七十年前

ヨリ始マルト云フ然レトモ匡某名取川ノ産ト共ニ鑑定スルニ或ハ此地
ノ生ナラン混シタルモノナラン 此山形縣ノ埋木ノ下層ヨリ出シ化石スルモノア
ルヲ層ニテ甚見ハ一方ハ埋木状ナレモ一方ハ巳ニ化石シテ又之ヲ空
氣ニ晒ストキハ深處ニ白色トナルト云フ 余ノ仙臺市中ヲ過ギテ
木炭商大町三丁目大泉也佐藤想助方ニテ木炭埋木化石ノ三
品ヲ求メシニ本ハ越路山字沢俣ト云フ所ノ産ナリト云フ 木炭埋木
ハ化石ノ果ト異テ唯化石ハ純白色ニシテ外面纖維状トナリ脆
軟ナリ 又川流レ材ノ余ガ以テ人如キナリ 其内最大ナルモノ即チ
量三千貫ノ巨材ハ大低白色ニシテ表面脆キ部モアレ西湊
浜蒼色ノ印分多ク水ニ隔ツルハ黒色トナリ且ニハモノナリ 此材ハ鋸



剛ニテ板トナスノ目的ニテ持来レモ甚堅度施工ノ難易等
ヲ試ミン為メ川流レノ材化石ヲ鋸断スルニ至テ堅ノ几三附平ヲ
要シタリト云フ 而シテ前述ノ最巨材ニ[redacted]換スルニ縦長八尺
ニ近ク中央幅尺余根印一尺半許厚サ二寸余アリ根ニ
近キ一方ニ長方形ノ釘穴アリ其上ニ又一方缺タル穴ノ痕ア
然レトモ天然ニ埋没セル材ニ非スシテ人工ヲ経タル木材或ハ舟
材等ノ埋レ化シタルモノナラン 然レトモ山崖根等ノ如キ層ヨリ
出シト余ヲ甚疑フ異ニスルカ尚精査ヲ要ス
岩山氏曰東宮莊ニアリシ廣瀬島郎ノ池ニ杙ヲ立テ上ニ茶亭ヲ
建テシヲ其後御令ニテ池中ノ杙ノ叛乞ヲ材ハ石囲トナリ

幅キ二寸五分長サ七八寸 蓋シ石器ナリ 刀ヲ磨スベカラザルナリ
曾テ見ル所ナリ 此状ヲ打ツ時ハ 江戸ノ田舎ニ始ノ事ニテ
夫ノ石ト云ハ久シキコトニ堅ク 然ラバ化石ニ変ノ毎ナル形ノ
往カシテ 成ルモノナラン云々

埋木ノ下ヨリ出ル化石ハ其近辺モ多シ 水面ノ満蓋 階段 往トモ
モ唯形ノ奇ニシテ 白キモノハ 人之ヲ珍重スルモ 右ハ松島ニ
尤二個ノ巨化石ハ 松ノ材ナリ 是ハ陸奥気仙郡ナリ 又同所ニ賣
人手ノ片石ハ 石様ノ品ノ砕片ナル 先年 河原君持来シテ 寄セ
見ヘタリ 又池田濱新兵ノ拾集セシヲ 贈ナシタリ 皆気仙郡ナリ
明治十九年六月 記憶之中ヲ録ス 田中芳男記

[illegible]

岸ニ埋レノ 名ニテ前 地トハ同名 異物ト知ヘ こし

紀下 埋木ノ説

名取川ノ名産トシ 従来 各様ノ器物ヲ作リ出ス 稿
本材ニシテ 木理分明ナリ 又 埋没セル本材ノ壱 是ハ 蓄
ヘシヲ東京ニテ 神代木住ノモノナリ 博物館ニ大材アリ
ヨリ出ス所ノ 実地ハ 知ラズ 先年 博物局 田中雅敏氏
ノ調ヘタル話アリ 其記載ニ 大庭誠ニナリ 直ニナリ 故ニ
今日迄 其様子ヲ知ラズ 唯 樂ノ如キモノナリ
近年ハ 城山ヨリ多ク掘出ス 甚ダ一ナラズ 鍬甚ダ有ルナリ 今ハ堀
人ノ手下ト 外ニ二ケ所アリ 愛宕山ヘ至ル道ノ側ニ 崖ヨリ 本炭
ヲ堀ヘリ 是ハ 此辺ノ 城山ノ向ヒニ 遠キヲ以テ 之ニ 黒ク僅ノ量ヲ見

（注）

唐木ノ件

一 化石見ル行ニハ地帝陽ナ

一 木炭ノ出ル第 帝代是店

一 埋木モ陸奥ニモ有リ

一 小瀬ニ木炭ハ捨ニ有リ

一 名取川ノ今様ニ有リ（埋木ノ）名所

一 那珂木ハ今ニ有リ

一 大ナル化石ノ出ル所ハ何地ゾ

一 山形七千年来ノ 埋木ハ名取川ノ名ヲ 以テ 原ヲ 云ヘシ

一 仙台ノ化石

皆 九月廿日

楱キニ二寸五寸七八寸 既ニ石ニナリ 刀ヲ挽スベカラザリシ

曾テ見シヿアリ 此材ヲ打ツ時ハ 江戸ノ田舎ニ始ノヿニテ

夫ノ石ト云ハ 久シキヿニ堅ク 然ラズ化石ニ変ノ年所ヲ

ニ云フ 八ヲナラン云ヘ

ノ出ル化石ハ 甚近細ニシテ 多満並 階級 住ト云

奇ニシテノ 白キモノハ 人之ヲ珍玩ス 又 松島ニ

化石ハ 松ノ材ト云フ 是ハ 陸奥 義庫ナリ 又 同所ニ黄

ハ石様ノ品ノ碑用ナリ 生年 河原君持来ル 子廟ヲ

化田藩ノ材料 盛ナリシヿアリ 皆 義庫ト云ヘリ

九年九月九日 此標本ヲ集メテ 田中芳男ニ送ル

注 木炭ト云フ名ハ 木材ヲ焼キテ 炭トスル名ニテ 即 名炭 燃料ノ炭 埋木ニ宮城ニ於テ 名ニテ 前 黒物ト知ルベシ

宮城縣下 埋木ノ說

埋木ハ 陸前名取川ノ名産ナリ 従来 各種ノ器物ヲ作リ出ス 褐黒色ノ原化ホ材ニシテ 木理分明ナリ 又 埋没セル木材ノ其 是ハ 蒼色ヲ帯ス 材ニシテ 東京ニテ 神代木 住ノモノナリ 博物館ニ大材アリ ヲ名取川ヨリ出ス所ノ 実地ハ知ラズ 先年 博物局 田中羽設氏ガ 実地ニ就テ 調ヘタル話アリ 其記載ハ 大庫課ニアリシ 宜ヘナラン 故ニ 今日迄 其様子ヲ知ラズ 唯 碑ノ記ニ云フノミ

近年ハ 城山ヨリ 多ク掘出ス 甚少 一ツモ 鉄器ノ有ナリ 今ハ堀ハ 十年前ト 外ニ 二ケ所ヨリ 愛宕山ヘ登ル道ノ側 走崖ニテ 木炭ヲ堀ルヲ見ル 此荒 城山ノ麓ニテ 遠カラヌ辺ニ 黒樺ノ層ヲ見

注

地ノ状ヲ見ルニ山尾根ナル所ノ掘ル場所ヲ見ル 此所ハ山ノ麓ニ坂ヲ
穿チ入ル穴ノ深サ六間ニシテ暗黒ナリ 其木炭層ノ上面ハ
茶色ナル粘土アリ 土ヨリ一見ニテ赤埴土ト知ルヘキ粘土ナリ 木炭ハ
二三尺許アリ（此木炭ヲ掘リタル穴中ノ薪材トスルハ前ニ言フ
地山ノ崖ニ見ユル所ノモノナリ 此木炭トスルハ即チ木材片ノ錯
濃ニシテ悉ク黒色ニ炭化スルモノアリ 掘出セハ水気多クシテ乾トスル
乾ケハ堅ナリ 此木炭ノ價ハ極メテ廉ニシテ僅ニ價ヲ以テ数人ヲ傭フ
ヘキ場ヲ沸スヘシ） 此木炭ノ下ニ厚サ五六寸ノ砂粘土ノ一層
アリ 夫ヨリ下ニ埋木アリテ見ル所ニテハ木炭ノ如クナレトモ 埋木ハ
木理通リテ質固ク木材ニ近ク 木炭ハ木理縦横乱錯ニシテ更ニ

材ヲ得ス 且色黒ク石炭ニ近ク剥ケ易ク至テ脆シ 埋木ノ原ハ
田材ハナク剥ケ易ク材片ナレトモ若シ少シク細工スヘキノ材面ヲ
見ルヘシ 然レ一尺以上ノ幅一寸以上ノ厚サヲ得ルニ容易ニ
アラス 此木炭埋木ノ内ニハ葉実モ見ヘキナレトモ見ル事ナシト
ノ話ナリ 又埋木ノ下ニハ既ニ化石ニ変スルモノ往々アリ 黒色
ニシテ埋木ト同様ニ見ユレトモ石トナリテ堅シ 之ヲ出シテ風雨ニ晒
セハ白色ニ変シ次第ニ脆弱トナリ繊維状ヲナス 又多纖ノ
如シ 但シ粘靭ナラサレハ新シ易シ 又酸類ニ感スルヿナシ

明治十九年八月　田中芳男記

右ハ仙台竹沢ノ内ニ見ルノヲ清書スルニテ 御修正増補ニ

仙臺ニ於テ木炭埋木並其化石等ノ地ヲ実検スルモ盛暑ノ候ナルヲ以テ急ノ如クスル了能ハズ且悉ク抜渉スル了モセザリシニヨリ該地ニ於テ其品類ヲ買収シ又自ラ得ル所等ヲ持帰リテ之ヲ検スルニ城山ノ地層ヨリ出ル所ノ濃色木ハ従来名取川ノ砂中ヨリ堀出ス所ノ材即チ東京ニテ所謂神代木トハ同カラズ人之ヲ混シテ名取川ノ出近年乏キニヨリ擬物ヲ作リ出ストスルカ其埋木ヲ言フナルベシ今左ニ其別ヲ揚ケン

一 仙臺城山産埋木即濃色木ニシテ尾張イカ辛ニ同シ

一 名取川産埋木即水中ニ久シクアリテ蒼色トナリタルモノニシテ神代木ニ同シ

仙臺ヨリ出ス所ノ埋木化石ノ大ナルモノハ長八尺幅ハ本ニ於テ二尺許其上ニ堅ニ尾ヒ於ル厚サ四寸許アリ大ナルニヨリ庭木ニ掛ケ置キナリ其ニ重ス然ルニ本ノ方ニ於テ一ノ針孔ヲ見ル其ノ上ニ又孔ノ缺タル所アリ然ルトキハ舟カ何カ人ノ使用スルモノナク地ヨリ出タルモノナルヲ知ル因テ之ヲ切ルコヲ止メ他ノ小ナルモノ即チ長二尺許ノ者ヲ切ルニ断面ハ黒色ニシテ埋木ノ如ク本理モ亦相似タリ故ニ埋木トハ比シテ更ニ差ヲ見ス唯石ニ化スト重キノ別アルノミ因テ縦横ニ切断シテ各個トナス審ニ之ヲ見ルニ面悪タ義アリ（片山君曰本理ニアラ子ノ如シ）石化石ノ外面ハ風雨ニ曝スニ從ヒ次第ニ灰白色トナリ集合力ヲ失シ

丙織様ノ繊緯トナス故ニ甚タ脆弱トナスニ至ル夫ヲ排ヒ為ス
ニ従ヒ漸ニ小形トナス 因テ大材ハ保存ノ為メ塗中ニ
入レタリ 其人為之化石ニ就テハ人数ニ関係アルヤト学ニ
那保由慶氏ニ矛盾アルニ其化石ノ年代ヲ調ヘシニ何ゾ
叢フ下ニカラヌト 埋木ト化石仔トヲ持帰レリ 其埋木者ニ前
前界ノエノト望ミ 仲ハ 前古界ニ人数足ノ徴ナシ 何ゾ夫ト
モ思ハレズ 然ル年ハ其古界ノ材カ集リテ挟他層ツナストモ
思ハレズ 他日ノ教ヲ待ツ 同臺ヲ得シ所ノ木化石ノ一ニシテ
黄茶色ノモアリ 農母製作ニ設ニ切ラルニ 松島塩竈
等ノ地ヨリ出ルモノト同クシテ 埋木化石ニアラズ 却テ堅キ者也

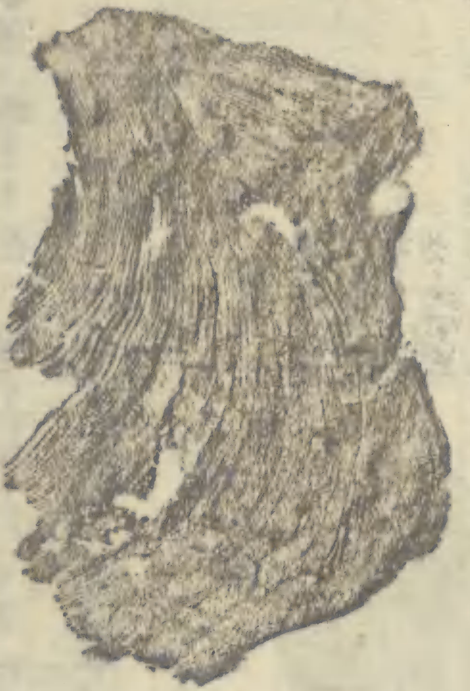
松島ノ松ノ化石ト称スルハ同所観瀾亭ノ庭ニ一本アリ
圓材ノ化石ニシテ高サ地上ニ四尺許 周五尺モアルベシ 又
同所公園如キ所ニ右ニ似テ尚長キモノアリ 是ハ先年
東ノ呎ハ倒レテアリ 周ノ所ニ拠ハ宮城船舶筆陳ノ果
セシヲ同所ヘ寄附セラレシト 又松島ニハ化石ノ砕片ヲ壺
ハ店モアリ 諸方ニ売ル 質モ下レリ 曽テ池田謙蔵氏ノ持帰
リ示サレシヲ磨カセシモノ今尚存ス 是ハ松島ノ松化石トスルモノ
又生年河野君ガ宮城県下ヨリ採帰リテ示サレシヲ見テ
磨キ試ミニ瞭ハ表面ニ殆ト瑪瑙ニ近キ良果ヲ見シ 是ハ同
君ノ手ニ出シタリシ 以上ノ陳表ニアル化石モ松島ノ果ト

似タル圖ナシ巨材ナリシ 北海道札幌ニテモ見タル事アリ是
石狩川ノ岸ヨリ出タルモノニテ 農学校ノ床下ニアリシ 質ハ
ナリ 此川岸ヨリハ 此化石甚多ク出ル由ナリ
明治二十二年五月十一日 是迄ノ記憶ヲ 任淵之書ヲ合シ 田芳誌

埋木化石 樵衛所

本ハ硯又ハ墨池 墨臺 等ノ器物ニ作ルベシ

是ハ仙臺東南大ニ町ナル松島ノ西ニ近シ 更ニ長尺ニ近ク外面大ニ磨
擦セル 是ハ全ク
木材ノ質ニ変シ
タルモノナレ此横断
ズルニ好都合ニ
迴僞痕ノ痕
アリ然レ内部
ハ美ナラズ



同

横断面

縦断面

東京大学総合図書館

右名所ニ瑪瑙ノ所アリテ陸ニ 埋木化石ノ外ニモ亦珪石採ノ
所アリテ陸中之 此石ノ如キハ陸中ニ且色大ニ異ナリ 埋木化石ノ方ハ
埋木ノ色ヲ存スルナリ

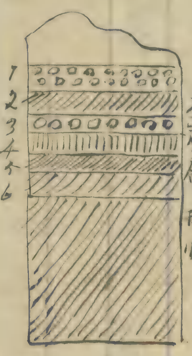
是ハ此場之産ヲ霽キ其ヲ切リ又ニ光沢アリ瑪瑙ノ如ク外部白肉部色ヲ存ス

早山之人君曰 形ハ木理ナリト

山形会君生寄ニ早セ送リ 改革　即明治十七年一月古河什ニ示

仙台埋木略解　在京特別会員　田中穣

余曽テ官命ヲ奉シ宮城縣近廻ノ際 仙台ノ埋木採掘場ヲ巡リ 開見セシ所ヲ略記シテ帰レリ 今其ノ概要ヲ記セ 諸君ノ高覧ニ供ス



木炭層ノ形状

(1)ハ丸石ノ交リタル赤色ノ土砂ニテ層厚サ凡ソ二三尺許 (2)ハ火山灰ノ固結シタル者 此層ハ厚サ一尺ヨリ二尺ニ及ブ (3)ハ又丸石ナリ (4)モ又火山灰ニシテ其質ノ層ハ(5)ト同ジ 故ニ其厚サ五六寸ニ及ブ 但(1)ヨリ(6)ノ上部マデハ層ヲ為セトモ其下ニ層ヲ為サズ (4)ノ下ナル木炭層ハリ之ヲ(5)トス 其層厚サハ一尺ヨリ五尺位ニ及ビ 此ノ層ニ埋木出

るなり 但亜ハ山の芽揃兒上ニ行り 赤垂囲と云所ハ高さ三丈許ほど
追廻と云所より方ハ 二丈許あり 又(子)(チ)共ニ 細石を 交へ(ヌ)ニ至
へ火山灰と云ク 故ニ本家ニ摧き 所あり
其へ此地層ハ 東ニ向て傾きかめし 廣瀬川の東長柄檮子むかし層全く
傾りて 河中ニ 在りと云ふ
埋木ニ掘の畢状を全く 箱根ニて 神代杉を堀るとは異なり 礦
石を掘出すやうに 洞穴を穿て 埋木の長さニ随ひ 縦ニ掘り出く
なり 其間の材を掘出たるよし 大約六尺斗りを一間を壹ケとして
本炭の出る層中ニある 埋木ハ 細工を施し得べけれども 其上下層
中附として 埋木を出すことあれども 用をなさぬといふ

紙 儀 板

埋木ニ 組織ニ 倒れ戻れと 吹くも 直さ又ハ 斜傾せる者なく 皆平ニ
倒れ居るなり 根枝之 本幹ニ 附き居ま 倒れいるもあり 又ま根と
離し 根のみ 生へたる 後の形ニて 臥りいるもあり 立根ハ用をなさいと云ふ
材の良否を撰むニ 粗をあらためと云ふ 質色を失ハ 匂ハて 突縮く割
れ 得つきまうハ 悪し (善し其ハ質木炭ニ近きまうなり) 材色ニて
赤黒両様共 良否なり 又材理細密なる者を 割れ難きまうも不向なり
幹ハ土ニ壓せられて 扁平 圓き本ハ 少扁となりて 尺ハり 故ニ其原さ凡
たる事 但し 幅二間 材之 其厚さ 壹尺 乃上ニ ならもの有り 但し
通常 幅 弐尺前後のもの 多く あるなり
材の長さハ 大なるもの ニ至れば 十五六間 ニもならぬ ものなり 埋木乃 本源

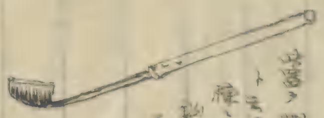
雲母貝の印したる石のあたるあり 文葉の印したるもの出る
をあれとも何材たるやを知し難し 係し針葉樹なへ派りし
といふ

宇医の口と称する處ハ最も早く埋木を発見しなる
處なり材質も亦最も良し始め埋木を発見しなる
ハ凡三千年あとといふ金剛澤ハ何故か赤色の材のみを
出すといふ

埋木の出る箇所ハ即時よ山甚面ならび係し埋木
の出る地ハ四方平均三里余なり此内皆（木炭層
中ミあれ）埋木なるものと定め得べし 故る堀出箇

化石

所手く変換増減せり
土中ミて埋木材の倒れたる上を水の通るをけれハ其
處ハ材摩せられて漸く減せり 恰も角石の水よ
磨せられて丸石となるめきなり 故る時として一材ミて處々
よ断続高低あるを得り
埋木ハ土ろはまりたるを未だ見ざといふ
堀出を場所ミて材を割て出すをほり且割り法ハ
割あ法ある小山鋸よ割るのミ 咋材として本の化して石となる
なる處何かり割るときミ之よ注意して甚し化石なるハ其處を避へ
割るべし（此石のほう方ハ上図のごとし）



埋木細工ヲ為ス本職人十六人有リ一年ヨリ
高平均大約三千円位ナラン外ニ職人ニ
属シタル弟子等有リ故ニ生ス千円位ト見
做サヽル可ラサル理 甚之部ノ明細ナルヲ、
尽ス能ハス、但シ埋木職ニハ細工職人ノ外
辨ナル所ナリ
埋木ハ甚削リ難キモノヘ硬ナル鉋（カンナ）ヲ用
此ノ如シ之ヲ作ルニ右ノ図ノ如キモノヲ用フ

奥羽被路開港誌ニ曰 埋木ニ関スル件ヲ摘録ス
日本風土記曰 名取川ニ又出怪石水材香箸家
按今此川ニ且水材乃今称之沈木（ウモレキ）焉是乃和歌所詠
埋木是也土人取之或用之器物或焼而用香爐炷
香尤奇也世人貴之埋木或称之流木是ニ
従三位氏久之詠矣仍為下古歌ヲ以テ此ヲ書証
之云
古歌多クアリ之ヲ略ス
土産歌下 埋木灰（ウモレキノハイ）
焼ニ沈木而為香炉灰也其色赤黒
名取川為ニ名品其河流常仮ニ水勢而下ニ之薪木而備ニ貯用

甚重者或沈ニ水底ニ而為筝也久之人取而使之則無気尤清
音以能将其而不贓故要観歌想在親部奇公伯之徒及士大夫之
槙得而珍之
名取川ノ条ニモ 埋木ノ事見エ候 前ト大同小異ナレバ 略ス
歌ハ宜略スベキ者也

（物産會第三十三号）

埋木ノ説　丹羽敦

宮城縣下ニテ埋木ノ細工物ヲ出スニ二種アリ一ハ名取川ノ埋木木コレハ真ノ木材ニテ埋木ナリ箱物ヲ拵ニ竹釘ヲ施スコトヲ得ベシ一ツハ山ノ中稜欠ケ落チタル所ヲ見ルニ先ハ草木ノ生植スル部黒土ナリ其下ハ赤土ナリ其下ハ砂交リノ粘土岩ナリ其赤土ト粘土トノ間ニ黒キ一條ヲナス所アリ其黒キ所ハ則俗ニ埋木ト唱ルモノニテ実ハ木ニアラズ察スル所山中生スル所ノ樹木ノ膏脂盛出シ漸ク凝リテ剥板ノ如キ

キノトナル年ヲ経ルニ随ヒ石ニ化ス其半ハ化シタルモノヲ以テ石埋木細工ニ用ユ釘ヲ施ス了能ハス故ニ細工モノ枝ノマヽニテ盆ノ類ノミナリ大ニ化シタルモノハ則石炭ナリ所ヲ以テ考フレハ右ノ如シ

黒土
赤土
粘土

△ 町礼ヲ立テ置タル所

▲ 十五年ニ坐堀リテ本化石 書ヲ拾フ所

▣ 木炭採リシ所

溝口秀氏信

二十年五月十四日聞キ書ス　田芳記

一 埋木ノ屑ヲ薪材ニ用ユルハ山居盛ノ職人但手他ヘ売出ス

那ノ異ハ去ル戌年中（四年前）開住メアリト

一 埋木ヲ掘ル所ハ名取郡ノ龍ノ口沢　越地山ヲ申

官林　金剛沢　二ツ沢　右三ケ所ハ埋木ノ出ヅル是

山居盛手用ノ材ナリ

一 木炭高ハ目下二家足ルノミ

一 木炭ノ産額一ケ月千五百目　元産出荒　千五百目

愛宕山　五百メ目　猪落　此外ニ木ヲ出ス所アリ

一 名取川ノ岸ヨリ出テ堀ヘツナリ　稀ニ碑ヲ採テ居ル

[illegible]

ニテ大ヲ且付ケ持帰リ細工トナシ 埋木之トノ渡又アリ

前ノ埋木トニ違ヒ 蒼色ヲ帯ヘ材ニヨリ状居新ラシ

一 目下城山ノ辺ヨリ出ル所ノ埋木ヲ前跡ノ名取川

品ト混シ 名取川ノ名産ト見ナシ一ツト思ヘ古キヲ

ナシキ 故ニ余ハ埋木トサヘ云ヘハ 名取川産ノ如クニ

思フハ 今多ク製出スモノハ前述ノ埋木ニシテ名取

川ヨリ出ス時代若キ木ト見ヘタリ

宮第一八二七号 大一年 九一二

伊達埋木理方

紙儀板

四月五て

横濱ノ伏島
冨士裳野塚本

横濱区[illegible]
[illegible]八番地
[illegible]正兵衛

東京本郷区
金助町七拾弐番地
田中芳男様
[illegible]侍[illegible]

趣[illegible]
[illegible]坑[illegible]石鐵ハ
[illegible]甚
[illegible]一個
[illegible]地
[illegible]探[illegible]

東京大学総合図書館

四月五日
櫻渡辺

田中櫻號より

錢屋

東京大学総合図書館

四月まで 模造

八月[illegible] 五月[illegible]

毎月廿[illegible]

十二日 百[illegible]

田

十日七日[illegible]

國華 模造

同 [illegible]（一也 白木哥）（三千種）
三田井村字車ノ迫
ニテ堀出シタルモノ
古代 鏃石 四個
以一個宮崎人[illegible]採堀ノ分

以上自御し梅先年中ヨリ福岡[illegible]

以下 京都郡ニ古墳發見ノ種ニ

益御清祥奉恭賀候然ハ
去ル御照会ニ依深瀬中共[illegible]出品
先年ヨリ当地ニ在勤[illegible]
[illegible]右御問合[illegible]
然ルニ見御申越ニ拙者先年中ヨリ福岡
県下京都郡ニ古墳発見種々

九州沖縄八県聯合共進会事務所

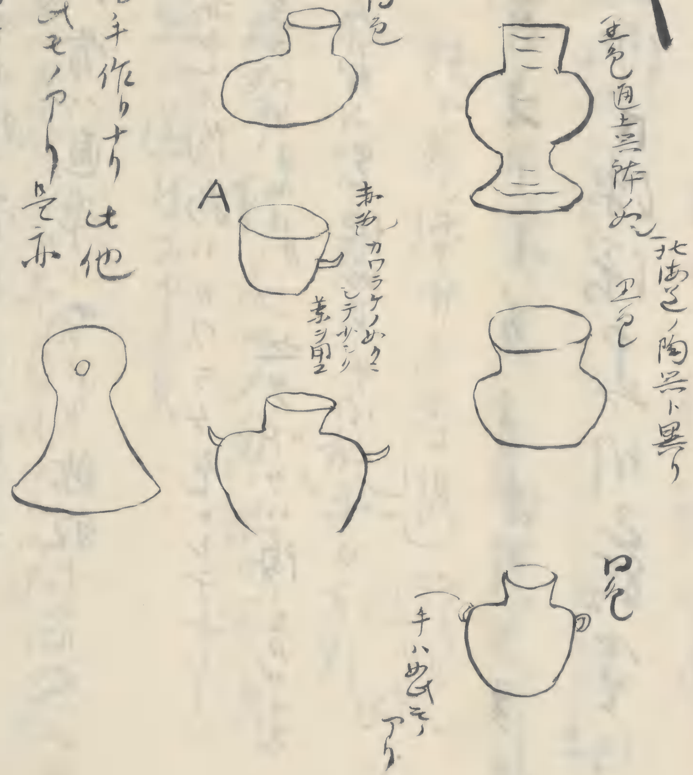
振出ノ旧村
永留岩五郎

進呈
高橋[illegible]殿

田中[illegible]

十三年十月七日

ノ把手推出ス如キモノハ水ヲ通ス器ナリ
坪井學士モ亦此説ヲ貴ク如シ
尚此如キモノ室比ニモ識ルベシ
是此等ハ古ノ如キモノヲ指シ去
有之



皆手作リナリ此他
如此モノアリ是亦
陶器同質印

一此穴アリ吹ケハ蝶ノ如ク鳴ル
古傳フ古ノ陣貝ナリト

果シテ何ノ用ヲナセシヤ

此他色環　管玉　マケ玉モアリ

人骨ハ通常ノモノヨリ餘程大ナル也

赤色ノ陶物ハカワラケ色ニシテサシノ

葉ヲカケタルカタメシ之ヲ叩ケハ陶ノ音ヲナス

A印ハ先椀ノ如シ手ハ

如斯アリ

右ノ類ハ若シ坪井子等様ヘ御入用ナラン

モノ有之ハ一覧之處ハ教示ヲ乞度候

又右等ノ類ハ大同ノ品モ有之候

御通出送付可申上候

平素ハ疎遠ニ打過候段申訳無之候

東京本郷金助町七十二番地
田中芳男殿

赤間関逓信管理局
松尾三平

至急出張願上候也

一月廿六日 赤間関ニテ
根岸壹静
田中芳男殿下

果シテ何ノ用ナリシヤ

室蘭地方ノ[illegible]
札幌地方ニ[illegible]
窄堀リ上ミ[illegible]
試ムル[illegible]
小樽近手[illegible]
区直ニ持帰リ 今后保存方ハ 博物場ヘ協議ニ至ル

[illegible]

[illegible]

室蘭地方ノ山ニハ多クアル由　是ハ昨年ノ練來氏堀得ル所ナリ
札幌地方ニハ穴居跡ナリトテ皿状ニ陥タル所ヲ見ル　是ハ平地ニ円形ノ
穴ヲ堀リ上ニ覆ヒヲシタル今埋没スルモノカ　多クアリ　是ハ二均シク同形ナリ　其穴ヲ堀リ
試ムル事ハ札幌博物場ニテ猶ヨク依托シタリ
小樽近手宮ノ鉄道館地内ノ山崖ニアル文字状ノ彫刻ハ昨年山高氏
写真ヲ持帰リ今尚保存ス　又ハ博物場ヘ　協議ヲ立タリ
不斤於憂

赤間関古物ノ件

博物館
史傳部

田中従四位様

北海道

掘出古器物

箱館地方ニテハ往々掘出スヿアリトテ同所博物場ニ於テ簇石其他各種ノ
石器ヲ見タリ其内紋彫石製ノ極大ナルモノアリ曽テ東京ニ於テ買得タルヿ
ト包聞ノ所ニ拠レハ尚大ナルアリ黒人所蔵スト云フ
箱館公園地ノ辺ニ埋土地アリ谷地低トナシ此処ニテ石器ノ破砕セルモノヲ
拾フヿ多シ全形ノモノハ絶テ得サレトモ人造品タルヿ疑ナシ
室蘭地方ノ山ニハ多クアル由是ハ昨年練木氏堀得ル所ナリ
札幌地方ニハ穴居跡ナリトテ皿状ニ陥スル所ヲ見ルヿ多シ是ハ平地ニ円形ノ
穴ヲ掘リ上ニ覆セシモノ今埋没スルモノカ多クヲ見ルニ均シク同形ナリ此穴ヲ掘リ
試ルヿハ札幌博物場ニテ精シク依托シタリ
小樽近手宮ノ鉄道館地内ノ山崖ニアル文字状ノ彫刻敷ハ昨年山高氏
区直ニ持帰リ今尚保存ス方ハ博物場ヘ又ト協議セリ　石片於テ見

田中従四位殿
執事御中

手宮町ノ山ニ多クノ古器及砕片ノ出ル地ハ人家ノ間ニ在リテ平均ニ取
懸ル地ナレバ出ル又ハ塚等ニ集メ置キ博物場ヘ寄掲ル手続ナリ余モ同地ニ
於テ自ラ拾得又里人ヨリモ買収セリ。此地ヨリ山越ニ祝津(シクツシ)迄ノ間モ大
ナリ又祝津ニモ各所ヨリ出ルアリテ平地ニテ多ク拾ヒタリ祝津ヨリ先ハ家居ノ
地ヲ平均シ山崖ヲ数個ヲ堀得テ博物館ニ蔵セリ
博物場員ノ話ニ札幌地方ヨリ出ル石器ハヨブシデアン(紋別石)ニテ
函館地方ヨリ出ルモノハジヤスペル多シト今実験スルニ果シテ然リ
岩内驛ト茅沼石炭山ノ間ハ行程二里餘ナリ其間ノ谷間并降ノ陸
又畑地ノ間ノ空渠ヨリ石器ノ砕片及陶片ヲ得タリ
釧路国ハ旧来土人ノ多ク據ミシ地ナレバ古器ノ出ル所多キヨシ余ハ厚岸
湾ノ西岸ニ於テ穴居跡ノ埋レル哉ハ多ク連ルヲ見タリ又古キ介殻ノ堀リ
タルモノノ端ヲモ見タリ

濱中ト初田牛ノ間ポンノト云地ノ路傍ニ陶片ノ出ルヲ見シコトアリ
根室地方ニテハ見シコトナク又聞タル人モ知ヘナシ
博物場員ノ談ニ方今居住ノ土人ニ古石器及陶器ヲ以テ質問スルニ
土人ハ皆アイノ所用ノ器ニ非ス小人ノ所用ナリト答フ又曰若シ祖
先ニシテ此器ヲ製スルヲ知ラバ後裔タルアイノ何ゾ知ラザルコトアラン是余ハ
別ノ人種ナレバアイノノ知ラザルコトナリト云ヘシ
青森縣下ニテハ先頃弘前道開鑿ノ所ヨリ出ル陶片一個平井臣雄ノ
博物館ヘ出シタルヲ今般通行ノ際注意セシガ往路ハ雨天帰路ハ
雪天ニテ遂ニ見ザリシ聞ク所ニ拠ハ下北郡ノ原野中各所ヨリ出ル
ト云フ
宮城縣下ニハ土人穴居跡多ク連ル地アリト方今出京ノ一等属早川氏

東京大学総合図書館

語レリ

又松島湾中ノ一島ニシテ野蒜港ニ近キ潜ケ浦(カツキ)ハ近年三菱会社ノ汽船滞泊スルトナスニヨリ開鑿ノ際土中ヨリ古代ノ陶壺四人骨等ヲ掘出セシ其器ハ渡辺某ニ属セシノ所持ノ由ニテ尋ネシニ旧書記官府氏ノ手元ヘ差出シ依テ遂ニ見ラバ然ラバ方今大蔵省庶務局長ナレバ東京ニテ吟味セン方可然トノ事ナリ罷ム

青森縣西津軽郡田町ニ亀岡(カメオカ)ト云フ地ハ陶壺ノ発掘ニヨリ名アリ ナハイヤ カノイト 出ルトぞ

明治十五年十一月

福島ニ於テ 田中芳男 記

井関盛艮所蔵
石器二枚

附札ニ曰

新西蘭
土人所用
石斧
明治乙酉九月
植田身之所贈

長サ八寸

五十四号

附札曰
これハ文イシ
武州　郡玉川々を距
る二里許の岡上より多く
あり

右ハ秩父青石なり

那須郡平野田之所産ニ而ニ
又同郡鏡ノ方ニ

東京大学総合図書館